

2025年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	☒ 一般入試 ☐ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（東洋史学）
出題の意図	問1では、東洋史学を志す者がふまえておくべき重要な問題の一つについて、自らの考えを的確に述べる能力があるか確認することを意図している。 問2では、東洋史学が対象とする様々な問題について、自分の専門分野に限らず、幅広く基礎的な知識を予め修得しているか確認することを意図している。

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 東洋史学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1 枚、解答用紙 5 枚を配付する。

問1 次の問いに答えなさい（解答用紙1枚を用い、問1と明記すること）。

ある地域に暮らす人々の集団意識（自他認識、民族意識、対外観）を今日、現状分析によって把握することは比較的容易である。しかし、過去におけるそれを歴史学の手法で浮かび上がらせ、そうした集団意識そのもの、あるいはそれに関連する歴史的事象を、歴史学の研究課題として議論することは必ずしも容易ではない。史料そのものの性質やそこに記されている内容をどのように理解するかという史料の問題、またそれらをめぐって誰がどのように議論してきたかという研究史の問題があるからである。以上のことについて、あなたが大学院で研究しようとしている研究テーマに関連づけて論じ、問題克服のためにあなたが考えている具体的方策を述べなさい。

問2 次の語句から4つを選び、それぞれ400字程度で説明しなさい（語句1つにつき解答用紙1枚を用い、まず問2と記し、さらに選択した番号を明記すること）。

- | | | |
|------------|-------------------|--------------|
| (1) イルミイエ | (2) アブー・ユースフ（法学者） | (3) 『固き絆』 |
| (4) アルダビール | (5) ヤズデギルド3世 | |
| (6) 『東觀漢記』 | (7) 雍正帝 | (8) 訓政（中華民国） |
| (9) 禹貢学会 | (10) 珍宝島事件 | |